

田ノ口小学校

『主体的に活動し心豊かに
たくましく生きる児童の
育成』をめざして

校長 橋田 まや

◆はじめに

本年度は、全校児童45人、教職員10人、複式学級(2・3年)1学級の5学級編成で教育活動を進めています。

学校教育目標を『主体的に活動し心豊かにたくましく生きる児童の育成』とし、「学力の向上」と「防災教育」の両面から、目標の実現をめざしています。

本校の子どもたちは、学年を超えて仲良しで、朝は誘い合って7時30分頃に登校し、一輪車やサッカーなど、元気に外遊びをします。そして、年間を通して朝マラソン(1.1km)を行い、心身両面を鍛えています。

◆命を守る防災教育

本校では、『主体的に活動し、自分の命を守りきることで生きる児童の育成』の防災教育

目標のもと、「我がこと感」を大事にした防災学習や、様々な場面を想定した避難訓練を行っています。4月の避難訓練では、校区の避難場所の確認を行います。そこでは、区長さんが過去の地震のことや防災倉庫を開けて地域の取組などについてお話してくださいいます。このような取組を通して、どこで地震にあっても自分で主体的に判断し行動できる「災害から生きぬく力」を高めていきます。



地域の避難場所の確認に行つて

◆学力の向上

本年度は、国語科を柱に授業研究を行い、児童に確かな学力をつけるための「楽しい・分かる・できる」授業づくりや授業改善を行っています。授業の中では、自分の考えを

書く活動や話し合い活動などを多く取り入れ、主体的・対話的で深い学びができるよう工夫をしています。

本年度4月に実施した学力調査結果では、全体的には全国と同等かやや上回っており、基本的事項は十分習得できていると判断できます。しかし、活用や発展問題となると課題が見られました。

さらに細かく分析してみますと、文章を正しく読み抜き力、自分の考えを書く力、思考や計算の確かさなどが共通の課題として挙げられます。

これらの課題解決に向けて、まずは日々の授業の中で取り組むとともに、帯タイムや放課後学習、家庭学習など様々な場面を活用して取り組んでいます。さらに、主体的に意欲をもって学ぶ姿勢や学んだ知識を活用するための言語能力を高める取組もあわせて行っています。

◆ソーシャルスキル教育

児童は、全体的にはみんな仲良しで、挨拶もできる児童が多いと言えるのですが、中には自分の気持ちをうまく伝えることができない、挨拶が進んでできない児童がいます。そこで、昨年よりソーシャル

スキル教育(SSE)を取り入れ「友だちと仲良くすごすコツ」を全校で学習しています。今年度は、「気持ちのよいあいさつをしよう」について、6月の参観日に全校一斉授業を実施し、保護者の皆さんにも見ていただきました。

参観した保護者からは、
● ソーシャルスキル学習とても良い授業だと思いました。
すでに、成果が出ていると思います。

● 社会の中で一番大切なのが挨拶だと思つたので、一年生のうちにしっかりと身につけてもらいたいと思つきました。(抜粋)など、たくさんの感想をいただきました。



参観日でのSSE全校一斉授業

このような学びを通して、今よりも楽しく、お互いに気持ちよく過ごすことができ、さらには、自信をもって人と接したり生活したりすることができる子どもにしてい

きたいと考えます。また、あわせて、上級生のリーダー性を高める取組も進めていきます。

◆朝読書と読み聞かせ

毎週火・水・木の朝読書の時間に、読書ボランティアさんが来てくださるようになって今年で7年目となりました。

4人のボランティアさんが、季節や行事、児童の実態に合った本を見つけて読み聞かせをしてくださっています。子どもたちはこの読み聞かせが大好きで、目を輝かせて聴き入っています。また、読み聞かせがない日は、自分たちで静かに朝読書の時間を楽しんでいます。

◆コミュニティ・スクール

平成27年度より「コミュニティ・スクール」の認定を受け、地域・家庭・学校が相互に連携し、子どもを地域で育てるという土壌作りを進めています。年間3回の推進委員会・草刈り・防災の取組・地域との合同運動会・昔遊び交流会等が主な取組となっています。このような活動を通して、地域・家庭・学校が一体となって、子どもたちの成長を育んでいきます。

佐賀中学校

『人間を大事に』

〜自他ともに

大切にすることができよう

校長 谷 範浩

◆本校の概要

本校では『人間を大事に』を学校教育目標として、人権・「同和」教育を基本に据え、いじめや差別を許さない人としての生き方を大事にしなが、全校生徒62名で、日々の授業や部活動、さらに生徒会活動や学校行事に頑張っています。

◆本年度の重点的取組

本年度は、高知県教育委員会の「志育成型学校活性化事業」の指定を受け、特別活動の充実を目指しながら、生徒の自尊感情・自己肯定感・自己有用感・社会性を育む取り組みを推進しています。

さらに、「いきいき」「わくわく」「思いやり」の三つのスローガンを定め、生徒主体の授業作りや学校行事を推進しています。このような活動を通じて、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を行うことによって、一人ひとりの生徒が『より良く生きる』ための意欲づくりや学力向上に

つながるように取り組んでいます。

◆佐中祭

今年度も17年目

となり、すっかり地域の行事として定着してきました。



佐中祭

今年度は、より生徒中心の佐中祭となるよう、実行委員会を中心として、生徒一人ひとりが役割を分担して各店舗で活動しました。生徒の店舗や地域の特産品の出店、ステージ部門も充実したものととなり、大いに盛り上がりました。

◆わくわく夏期補習

今年度の新しい取組として、基礎



わくわく夏期補習

学力の向上と小中連携を図るために、お隣の佐賀小学校の夏期補習を中学校の教室を使って行いました。補習には、中学校の教員や中学校3年生の生徒も参加し、

ジュニアティーチャーターとして、丸つけなどのボランティア活動も行ってくれました。涼しい環境の中、小学生も一生懸命に勉強に取り組んでいました。

◆いきいき合唱コンクール

昨年より始めた学級対抗の合唱コンクールはより充実したものとなってきました。今年度は、生徒からの要望で、教員チームも参加して同じ土俵で競い合うことになりました。

当日は、寸劇や曲の途中のパフォーマンスなどもあり、各学年工夫した発表で楽しいひと時をすごしました。次回は、保護者の合唱団も参加したいとの要望もあり、さらにパワーアップしたものになればと願っています。

◆わくわく読み聞かせ

昨年から、中学3年生が、佐賀小学校へ読み聞かせのボランティア活動を行って



佐賀保育所

きました。今年度は、それに加え、佐賀保育所にも読み聞かせに行くことになりました。

当日までに、一生懸命練習をして、いざ、保育園児に絵本を読む姿はやや緊張しつつも、微笑ましい光景でした。

◆佐賀カレッジウィーク

今年度も、夏休み当初に「キャリア講演会」を実施しました。日頃、なかなか聞けない話や、人権講演会、教職員の趣味や経験してきた話などを通して、『学ぶ意欲。学ぶ動機』につながるかと考えています。

今回は、ライアン先生とマシュー先生に、『ニュージールランド』と『カナダ』の歴史や文化の紹介してもらいました。日本代表として、本校の篠田先生の『苔玉の話』も興味深い内容でした。

◆基礎学力の定着と充実

本校では、校内研究テーマを『学力向上をめざした学級づくりの研究』として、「基礎学力の定着と充実」に取り組んでいます。

本年4月に実施した全国標準学力調査の結果では、1年生は、ほぼ全国平均を上回る結果でした。2年生は、昨年度は厳しい結果でしたが、この一年間の努力で全国平均とほぼ同じ状態となりました。3年生は、全国学力学習状況

調査の自校採点結果では、県平均を大きく上回るなど、着実に力をつけています。

学年や教科によって、それぞれ課題がありますが、基礎学力の定着を図り、学力を向上させるために今年度も、だけれども「わかる、できる」授業づくりをめざしています。

◆防災教育

昨年度から、生徒会活動の一環として、『防災委員』を設置しています。本年は、メキシコのシワタネホ市の中学校との合同避難訓練や、地域のお年寄りへのボランティア活動など、様々な防災に関する取り組みを生徒が中心となって行っています。その様子は、様々なメディアで報道され、生徒の自信へと繋がりました。



防災ボランティア